

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	指宿市立丹波小学校	児童生徒数	499人
-----	-----------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

分母を同じにするたきと、約分  
めに、通分すればいする  
い、答えを約分できるときには、  
できるだけ、かんたんにする。  
◎◎ △ たし算の時、通分、約分  
◎◎ 理解 ◎◎ 意味が分かった。

理解 ◎◎ 振り返り  
◎◎ 分母がちがうたし算のとき  
◎◎ 通分をしたらいいことが分かった  
◎◎ して約分ができるとは結構  
◎◎ ことが分かった

理解 ◎◎ 振り返り  
◎◎ 分母のちがうひき算は、通分  
◎◎ して、分母を同じにして計算し  
◎◎ たらいいことが分かった。

理解 ◎◎ 振り返り  
◎◎ 分母のちがうひき算も、たし  
◎◎ 算と同じように通分すればいい

学習したことの「理解と態度」について「◎ ○ △」で自己評価させています。理解が△の時ときは、難しかったポイントを書くなど、自己評価によって、書く文章の内容も変わります。

振り返りを書くときは、「通分」や「分母の違うひき算」など、書くときに必要な言葉（キーワード）を提示し、振り返りを書くように指導しています。

取組についての概要（成果）

10月20日（金） 第5学年 算数科「分数のたし算とひき算」における実践

「振り返り」は毎時間、ノートに記述式で行わせています。授業での「理解と態度」は「◎・○・△」で自己評価をしています。また、記述させる際には、授業での大切な言葉を使った振り返りが行えるようにしています。振り返りは、必ずロイロノートで提出させ、担任が確認できるようにしています。担任が常に確認できるようにノートをデータとしてロイロノートに残すことで、新しいノートになっても、自分の振り返りが常に確認できるようにしています。また、友達が書いた振り返りも見られるように、ロイロノートを使った交流を行い、友達の振り返りを参考にしながら書けるようにすることで、速くポイントを押さえた振り返りができるようになってきています。